

2024 年度

運輸安全マネジメントの取り組み



豊鉄バス株式会社は、経営トップをはじめ、全従業員が一丸となり、輸送の安全を確保するために、以下のとおり取り組みを遂行します。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 法令・規定を遵守し、運転技能の向上に努めます。
2. 安全最優先とお客様第一のサービスを提供します。
3. 継続的な改善を実施し、輸送の安全の向上を図ります。

2. 輸送の安全に関する重点施策

2024年度は、年間教育計画の見直しを図り、教育機会を充実させ、より細かく確実な指導を目指していきます。

2024年度の抑止目標は前年度の20%減と定め、新たに中期目標として、2025年度及び2026年度は前年度の15%減を目標と定め、事故抑止に取り組みます。

2024年度有責事故抑止目標

| |
|-------------|
| 2023年度の20%減 |
|-------------|

営業所別抑止目標

| 豊橋 | 新城 | 渥美 | 乗合計 | 貸切 | 合計 |
|----|----|----|-----|----|----|
| 20 | 9 | 1 | 30 | 10 | 40 |

中期目標（2024年度から2026年度）

| | |
|--------|-------------|
| 2024年度 | 2023年度の20%減 |
| 2025年度 | 2024年度の15%減 |
| 2026年度 | 2025年度の15%減 |

3. 2024年度の取り組み

(1)事故防止基本行動の取り組み

【乗合・貸切共通】

- ①交差点右左折時の、一時停止・最徐行とミラー・目視による死角確認の徹底
- ②停車時（信号停車含む）の、パーキングブレーキの活用及び駐車時の輪止め実施の徹底

【乗合】

- ③発車前（信号停車含む）及び停車時の、車内ミラーでのお客様の動静確認と車内アナウンスの徹底

【貸切】

- ④後退前の、窓開けとミラー・モニター確認の徹底

(2) 教育研修の実施

- ① モービルアイの追加導入と警報分析システムを活用した車間距離確保と前方注意運転の指導
- ② ドライブレコーダーを活用した安全運転指導の継続的实施
- ③ 各種階層別研修による安全意識及び運転技術の向上
- ④ 新任運転士の技能向上を目的とした入社6ヶ月、1年経過後のフォローアップ教育
- ⑤ 運転士の高齢化に対応した身体能力低下への理解と基本確認動作の指導

※ 輸送の安全に関する取り組みのスケジュールは別に掲載しています。

運輸安全マネジメントカード（全従業員に配布）

| 豊鉄バス 安全に関する基本方針 | | 2024年度安全重点施策 | | | | | |
|--|--|---|----|----|-----|----|----|
| この方針は、当社の輸送の安全の確保に関する基本理念として、安全管理に関わる意図及び方向性を明確に示すものです。 私たちは、この方針の意義と内容を深く自覚し、毎日の業務において確実に実践し、輸送の安全のレベルアップを目指します。 | | 【安全目標】 有責事故削減目標件数：2023年度比20%減 | | | | | |
| 1. 法令・規定を遵守し、運転技能の向上に努めます。 | | 豊橋 | 新城 | 渥美 | 乗合計 | 貸切 | 合計 |
| 2. 安全の最優先とお客様第一のサービスを提供します。 | | 20 | 9 | 1 | 30 | 10 | 40 |
| 3. 継続的な改善を実施し、輸送の安全の向上を図ります。 | | 【事故防止重点取組み】 | | | | | |
| | | 1. 交差点右左折時の、一時停止・最徐行とミラー・目視による死角確認の徹底 | | | | | |
| | | 2. 停車時（信号停車含む）の、パーキングブレーキの活用及び駐車時の輪止め実施の徹底 | | | | | |
| | | 3. 発車前（信号停車含む）及び停車時の、車内ミラーでのお客様の動静確認と車内アナウンスの徹底 | | | | | |
| | | 4. 後退前の、窓開けとミラー、モニター確認の徹底 | | | | | |

(3) 健康起因事故の防止と健康管理の取り組み

① 乗務員・管理者の行動の徹底

乗務員：決して無理をせず、早期申し出と運行中は「安全な場所への停車」を徹底
管理者：運行の継続ではなく、安全を最優先とする対応を徹底

② 健康管理の取り組み

- ・ 保健師・管理者・経営者が連携し、従業員の健康状態の把握と受診勧奨・経過観察等による健康管理体制の強化

【人間ドック受診推進及び有所見者への対応】

健康状態の把握と経過観察による管理体制強化

【脳MRI・心臓CT受診】

定期検査実施と要精検者への受診指導及び費用補助

【SASへの対応】

定期的スクリーニング検査実施と要精検者への受診指導及び費用補助

【視野障害対策】

視野障害を早期発見するため人間ドックなど定期健康診断に眼底検査を実施

- ・ 新型コロナウイルス等、感染症予防対策の継続的实施

(4) 防災体制の強化

- ① 大規模水害を想定した車両避難用地の拡大と訓練の実施

②情報伝達手段の構築（IP・MCA 無線）

4. 安全に関する投資（車両導入を除く主なもの）

| 項目 | 予算(千円) | 内容 |
|---------------|--------|----------------------------|
| 設備及び機器等に関する項目 | 2,000 | モバイルアイ |
| | 18,000 | 勤務管理システム |
| | 300 | アルコール検査機器更新・保守 |
| 教育に関する項目 | 600 | 教育研修費（外部講習、技能教習・訓練、適性診断、他） |
| | 400 | 乗務員一般教育eラーニング |
| 安全の啓発に関する項目 | 2,600 | 安全マイレージ運動、無事故表彰、SDカード申請等 |
| | 200 | 事故防止啓発、安全教室等 |
| 健康管理に関する項目 | 1,800 | 人間ドック等検診 |
| | 800 | SASスクリーニング検査・精密検査 |
| | 1,200 | 脳MRI・心臓CT検査・精密検査 |
| | 600 | 健康増進食の置き食 |
| 計 | 28,500 | |

5. 安全管理規程

「安全管理規程」は、別途記載のとおりです。

https://www.toyotetsu.jp/ufile/library/168_file.pdf

6. 安全統括管理者

白井 良充（取締役経営管理部長）

7. 事業用自動車の運転士、運行管理者、整備管理者に係る情報

| 運転士 | 選任している運行管理者 | 選任している整備管理者 |
|-------|-------------|-------------|
| 214 名 | 44 名 | 4 名 |

2024年4月1日現在

8. 事業用自動車に係る情報

| 大型 | 中型 | 小型 |
|-------|------|-----|
| 104 両 | 45 両 | 1 両 |

2024年4月1日現在

以上